

はじめませんか？ 障害理解学習

～心のバリアフリー
を目指して～

講話～社会的環境整備の大切さについて



不自由さの疑似体験



多様性の大切さに気付くためのグループワーク



未来を担う子どもたちの心を育む 「障害理解学習」

多様性の時代。大切にしたいのは、障害の有無や性別、年齢、国籍に関わらず、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会をつくっていくことです。そのためには心のバリアフリー（社会的障壁を取り除こうとすること）を育てていくことが必要です。本校では、人権教育の一環として発達段階に応じた障害理解学習を実施しています。

また、本校では交流及び共同学習の一環として、居住地校交流や学校間交流を積極的に行っており、交流活動の事前・事後学習としても障害理解学習を行っています。障害に対する具体的な学びや、児童生徒の発達段階に応じた自己理解・相互理解を促すことで効果的な交流活動につながっています。

こんな学習を行います



自分の中の先入観に気付くためのワークシート



障害をテーマとした絵本の読み聞かせ



テーマに沿ったグループワーク

| | ねらい | 内容 |
|-------|--|---|
| 気付き | <ul style="list-style-type: none"> ○多様な人がいることへの気付き ・色々な人がいることに気付く ・周りの人と仲良く過ごすことの気持ちよさを感じる | 話し合い活動 体験活動 絵本の読み聞かせ など |
| 知識・体験 | <ul style="list-style-type: none"> ○障害のある人について自分と対比して理解する ・障害に関する知識を身に付ける ・体験や交流を通して障害があるとはどういう状態か知る ★特別支援学校と自校との違いについて知る ★障害のある児童生徒と交流する | クイズ 体験活動 絵本の読み聞かせ 話し合い活動 関わり方のポイント など |
| 態度形成 | <ul style="list-style-type: none"> ○障害のある人の受容と援助行動の実践・定着 ・障害のある人への理解を深め、適正な態度で接する ・生活場面で障害のある人を受け入れ、自然に援助できる ★障害のある友達と一緒に活動する際の配慮点について考える | 障害の特性について 体験活動 話し合い活動 障がいのある人の生活や活躍場面 絵本の読み聞かせ など |

★は主に居住地校交流や学校間交流の事前・事後学習におけるプログラム

※御相談の上、それぞれの学校のニーズに応じた内容で授業を行います。また、先生方の障害理解に関する授業（特別な教科道徳、総合的な学習の時間など）のお手伝いをします。PTA 研修などでもご活用いただけますので、御相談ください。

秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

〒015-0885 秋田県由利本荘市水林456-3

tel:0184-27-2630 fax:0184-22-8706

問い合わせ先 教頭 佐々木朋広 黒澤貴之 地域支援部主任 佐々木弘美